

ジフテリア、破傷風、百日咳、B型肝炎、ポリオ、および インフルエンザ菌タイプb(DTaP-HB-IPV-Hib)ワクチン

Diphtheria, Tetanus, Pertussis, Hepatitis B, Polio and *Haemophilus influenzae* type b (DTaP-HB-IPV-Hib) Vaccine

予防接種は過去 50 年間、カナダにおいて他のどの健康対策よりも多くの命を救ってきました。

DTaP-HB-IPV-Hib ワクチンとは何か？

このワクチン接種により、以下の 6 つの病気から身を守ることができます：

- ジフテリア
- 破傷風
- 百日咳(ヒューという音を伴う咳)
- B型肝炎(HB)
- ポリオ(IPV)
- インフルエンザ菌タイプ b(Hib)

カナダ保健省によりこのワクチンは、承認されています。このワクチンは、お子様が定期的に接種するワクチンとして、無料で提供されています。医療提供者に電話し、予約してください。

誰がDTaP-HB-IPV-Hib ワクチンを接種すべきか？

乳児は、DTaP-HB-IPV-Hib ワクチンを 3 回接種する必要があります。1 回目は生後 2 か月、2 回目は生後 4 か月、3 回目は生後 6 か月に接種します。乳児は、他の小児ワクチンと同時期にこのワクチンを接種する必要があります。

DTaP-HB-IPV-Hib ワクチン	子供のワクチン接種年齢
1回目接種	生後2か月
2回目接種	生後4ヶ月
3回目接種	生後6か月

DTaP-IPV-Hib ワクチンのブースターは、生後 18 か月に接種します。子供たちは乳児期に B 型肝炎関連のワクチン接種を完了しているため、このワクチンには B 型肝炎ワクチンは含まれていません。詳細については、[ヘルスリンク BC ファイル#15b ジフテリア、破傷風](#)

[、百日咳、ポリオ、インフルエンザ菌タイプ b\(DTaP-IPV-Hib\) ワクチン](#)をご確認ください。

全ての予防接種を記録することは重要です。

DTaP-HB-IPV-Hib ワクチンの利点とは何か？

このワクチンは、ジフテリア、破傷風、百日咳、B 型肝炎、ポリオ、およびインフルエンザ菌タイプ b から子供を守るための最良の方法です。これらの病気は深刻で、時に死に至る場合があります。お子様がワクチンを接種することで、周りの人を守ることもつながります。

ワクチン接種後に起こりうる副作用とは？

ワクチンは非常に安全です。これらの病気の一つに感染するよりもワクチンを接種する方がはるかに安全です。

ワクチンによる一般的な副作用には、ワクチン接種箇所の痛み、赤み、腫れなどがあります。発熱、あるいは、不機嫌、落ち着きのなさ、嘔吐、下痢、鳴き続ける、食欲不振などを経験する子供もいます。これらの副作用は軽度で、通常 1 日から 2 日間続きます。

発熱や痛みがある場合、アセトアミノフェン(例：タイレノール®)またはイブプロフェン(例：アドビル®)を服用することができます。ASA(例：アスピリン®)は、ライ症候群のリスクがあるため、18 歳未満の方は服用しないでください。

*かかりつけ医との相談することなしに、イブプロフェンを、生後 6 か月のお子様には服用させないでください。

ライ症候群の詳細は、[ヘルスリンク BC ファイル#84 ライ症候群](#)を参照ください。

100 万人に 1 人未満の割合と、アナフィラキシーと呼ばれる命に関わるアレルギー反応がでる可能性は非常にまれですが、反応が出た場合に備え、ワクチン接種後 15 分間は診療所にいることが重要です。アナフィラ

キシーの症状には、蕁麻疹、呼吸困難、咽喉、舌、唇の腫れなどがあります。これらの症状が出た場合、医療提供者は治療することができます。緊急治療にはエピネフリン(アドレナリン)の投与と救急車で最寄りの救急科への搬送が含まれます。診療所を去った後に症状が出た場合は、**9-1-1**、または地域の緊急電話番号にお電話ください。

重度または予期しない副作用が出た場合は常に、医療提供者に報告することが重要です。

DTaP-HB-IPV-Hib ワクチンを接種すべきでないのは誰か？

お子様が以前ジフテリア、破傷風、百日咳、B型肝炎、ポリオ、またはインフルエンザ菌タイプb ワクチン、ネオマイシンやポリミキシンBを含むワクチン接種を受けた際、生命を脅かす反応が発生したことがある場合、医療提供者にご相談ください。

破傷風ワクチンを接種してから8週間以内にギランバレー症候群(GBS)を発症した子供で、別の原因が特定されない場合、DTaP-HB-IPV-Hib ワクチンを接種すべきではありません。GBSは、体の筋肉の衰弱や麻痺を引き起こす可能性のあるまれな症状です。ギランバレー症候群は、通常感染後に発症しますが、ワクチン接種後に発生することもまれにあります。

ワクチンは通常、7歳以上の人には投与されません。

風邪やその他軽度の病気により、ワクチン接種を遅らせる必要はありません。ただし、心配がある場合は、医療提供者にご相談ください。

ジフテリア、破傷風、百日咳、B型肝炎、ポリオ、インフルエンザ菌タイプbとは何か？

ジフテリアは、ジフテリア菌によって引き起こる鼻と喉の重度な感染症です。細菌は、くしゃみや咳、または皮膚と皮膚が直接接触することによって空気中に広がります。この病気は非常に深刻な呼吸障害を引き起こす可能性があります。また、心不全や麻痺を引き起こす場合もあります。ジフテリア患者の約10人のうち1人が、死に至る場合があります。

破傷風は、ロックジョーとも呼ばれ、主に土壌に生存する細菌により発症します。細菌が切り傷や擦り傷のある皮膚から入り込み、毒を生成すると、全身の筋肉に痛みが伴い、筋肉が締め付けられる場合があります。呼吸筋が影響を受けると非常に深刻な状態となります。破傷風患者の5人に1人が、死亡する可能性があります。

百日咳は、呼び声を上げるような咳とも呼ばれ、百日咳の細菌により発症する気道における重度な感染症です。細菌は、咳、くしゃみ、または顔を近づけることで、簡単に広がります。百日咳は、肺炎、発作、脳損傷または死を引き起こす場合があります。これらの合併症は、乳児に最もよく見られます。百日咳は激しい咳を引き起こす場合があります。次の呼吸の後にヒューという音を立てることがよくあります。この咳は数ヶ月続くことがあり、特に夜に頻繁に発生します。百日咳を発症した乳児約170人に1人が死亡する可能性があります。

B型肝炎は肝臓を攻撃するウイルスです。B型肝炎は肝硬変と呼ばれる永続的な肝臓の損傷を含む重篤な病気を引き起こす可能性があります。B型肝炎は、肝臓がんの主な原因の1つでもあり、死に至る場合があります。B型肝炎ウイルスは、ウイルスに感染した人の血液や体液との接触により広がります。B型肝炎ウイルスに感染した母親は、出産時に新生児にウイルスを感染させる可能性があります。幼児がB型肝炎ウイルスに感染する場合でも、無症状の場合が多いですが、ほとんどの子供は生涯にわたり感染が続きます。このため、若い時期にワクチンを接種し、身を守ることが重要となります。

ポリオは、ウイルス感染によって引き起こる病気です。ほとんどの場合、ポリオ感染症の症状は現れませんが、腕や脚に麻痺が起こったり、さらには死に至る場合があります。麻痺は、ポリオウイルスに感染した約200人に1人に発生します。ポリオは、感染者の排便(排泄物)との接触により感染する場合があります。これは、食べ物や排泄物で汚染された飲料水を摂取することで発生する可能性があります。

インフルエンザ菌タイプbは、5歳未満の子供に最も感染する細菌です。髄膜炎、脳被膜の感染症、血液の感染症である敗血症など、重度で命に関わる感染症を引き起こす可能性があります。インフルエンザ菌タイプbの感染は、咳、くしゃみ、または顔を近づけることで広がります。感染した子供の20人に1人が、死に至る場合があります。



BC Centre for Disease Control
Provincial Health Services Authority

ヘルスリンクBCファイルトピックスに関する詳細は、www.HealthLinkBC.ca/more/resources/healthlink-bc-filesをご確認いただくか、最寄りの公衆衛生局へお立ち寄りください。緊急を要しないBC州における健康情報および助言については、www.HealthLinkBC.caをご覧ください。耳が不自由な方、難聴の方は、**7-1-1**までお電話ください。ご希望により、130以上の言語で翻訳サービスがご利用いただけます。